

人物レファレンス事典Ⅳ

日本
人名典拠録
下

人物レファレンス事典Ⅳ

日本
人名典拠録
下



日外アソシエーツ

人物レファレンス事典

ISBN 4-8169-0207-4

Ⅳ 日本人名典拠録 下

1983年5月15日 第1版第1刷発行

定価 30,000円

発行人／大高利夫

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒143 東京都大田区大森北1-23-8第3下川ビル
電話(03)763-5241(代表) 振替／東京0-47971

発売元／株式会社紀伊國屋書店

〒160-91 東京都新宿区新宿3-17-7
電話(03)354-0131(代表) 振替／東京9-125575

電算漢字処理／インターメディア株式会社

電算組版・印刷・製本／大日本印刷株式会社

不許複製・禁無断転載

〈落丁・乱丁本はお取り替えます〉

ISBN 4-8169-0211-2

Printed in Japan, 1983

凡 例

本書は、『人物レファレンス事典』 古代・中世／近世／現代の各編に収録された人名を集成した総合索引であると同時に、“人名典拠録”として独立しても役立つよう編集したものである。

1. 構成 音訓引き、部首引きの2種のガイドと、部首画順に排列した本文から成る。
詳しくは、凡例9～11をご覧ください。

2. 収載人物 日本人名のべ18万人を、37種・113冊の辞典・事典から抽出し、各人物に簡単な説明を付した。なお、日本名を持った外国人、在日朝鮮人についても、採録したものがある。収録辞典については、後に掲げたリストをご覧ください。

3. 記載項目

部首5画 ← 部首画数
玄部 ← 部首
[1064] 玄 ← 人名の第一文字
玄々 ← げんげんいち〔～1804 俳人〕⇒近世
編(俳諧) ← 人名見出し
玄々堂〔1代〕 げんげんどう〔1786～1867〕 ← 人名よみ
銅版画家 ⇒ 近世編(人名②) ← 生没年/身分・職業
玄々堂〔2代〕 げんげんどう〔1837～1903〕
銅版画家 ⇒ 現代編(人名②) ← 時代区分(編名)/典拠

4. 見出し人名 各辞典から抽出した人名を、同一表記でまとめた。ただし、別人と判断されるものについては、独立した見出しとした。従って、同一人であっても各辞典で表記が異なれば、別見出しとなっている。

漢字については、常用漢字表、人名用漢字表を使用して字体の統一をした。

5. 人名よみ 各辞典のよみを、現代仮名遣に従って、ひらがなに統一した。従って、典拠辞典と異なっている場合があるので注意されたい。

統一した例 大 おお
津 つ、づ

辞典によって人名よみが異なる場合には、多く現われるよみを代表として表

わした。

6. 生没年 西暦で記載した。辞典によって生没年が異なる場合には、多く現われる年を代表として記載した。

7. 記述 身分・職業・専門分野を簡単に表わした。

8. 典拠 →に続けて編名(時代区分)、次に記載されている辞典を1つ、略号で示した。詳しい情報が必要な場合、指示先の各編をご覧ください。

9. 排列

親字の排列 人名の先頭第一文字が漢字の場合、これを親字とし、康熙字典の214部に分類して部首順に排列、同部首内では総画数順に排列して、亀甲に包んだ一連番号を付した。漢字以外については、漢字の後に置いた。

人名の排列 人名を、その第二文字以降それぞれの、カタカナ(50音順)、ひらがな(50音順)、漢字(総画数順)の順に排列、同画数内では部首順に、表記が同じ場合はよみの50音順に排列した。漢字以外については、よみの50音順に排列した。

10. 部首・総画順人名ガイド 本文の親字を部首順に排列、同部首内では総画数順に排列して、その一連番号を示した。同時に、親字内の人名から、人名先頭第一漢字と第二文字との組み合わせをとり出し、これを人名第二文字の、カタカナ(50音順)、ひらがな(50音順)、漢字(総画数順)の順に排列して、本文のページを示した。

部首 5 画 ← 部首画数
玄部 ← 部首
玄 [1064] ← 人名の第一漢字 / 一連番号
玄々 1433 ← 人名の第一・第二文字 / ページ
玄円 1433

11. 音訓よみ人名ガイド 本文親字の主要な字音・字訓を一括して50音順に排列、同じよみの文字は総画数順に、同画数の場合は本文で掲載されている順に排列して本文の一連番号を示した。なお、読み方がやや難しい文字を一覧して、ガイドの後に付したので、ご利用いただきたい。

げん ← 音訓よみ
玄 [1064] ← 人名の第一漢字 / 一連番号

収録辞典(事典)一覧

略号	書名	出版社名	初版年	刊年**
コン	コンサイス人名辞典・日本編	三省堂	1976	——
ジャ	世界ジャズ人名辞典	スイングジャーナル社	1981	——
スーパ	スーパレディ1009	工作舎	1977~8	——
マス	現代マスコミ人物事典	幸洋出版	1979	1980.3
維新	明治維新人名辞典	吉川弘文館	1981	——
音楽	新音楽辞典	音楽之友社	1982	——
革命	現代革命運動事典	流動出版	1981	——
監督	日本映画監督全集	キネマ旬報社	1976	——
教育	教育人名辞典	理想社	1962	——
近文①~③	日本近代文学大事典(1~3巻)	講談社	1977	1978.1
現執①~④	現代日本執筆者大事典(1~4巻)*	日外アソシエーツ	1978~9	——
現代人	現代人物事典	朝日新聞社	1977	——
茶道	茶道人物辞典	柏書房	1981	——
作家	現代作家辞典・新版	東京堂出版	1982	——
詩歌	和漢詩歌作家辞典	みづほ出版	1972	——
社運	日本社会運動人名辞典	青木書店	1979	——
女優	日本映画俳優全集・女優編	キネマ旬報社	1980	——
人書	人物書誌索引*	日外アソシエーツ	1979	——
人情①・②	年刊人物情報事典1981(上・下)*	日外アソシエーツ	1981	——
人情①~⑤	年刊人物情報事典'82(1~5巻)*	日外アソシエーツ	1982	——
人名①~⑥	日本人名大事典(1~6巻)	平凡社	1937	1979.7
人名⑦	日本人名大事典・現代編	平凡社	1979	——
世人	世界人名辞典・新版・日本編	東京堂出版	1973	1976.3
世百	世界大百科事典	平凡社	1964~8	——
戦国⑧	戦国人名辞典・増訂版	吉川弘文館	1973	1981.10
戦東	戦国大名家臣団事典・東国編	新人物往来社	1981	——
戦西	戦国大名家臣団事典・西国編	新人物往来社	1981	——
大百	大日本百科事典	小学館	1967~72	1981.4
体育	体育人名辞典	逍遙書院	1970	——
男優	日本映画俳優全集・男優編	キネマ旬報社	1979	——
中専	中国文学専門家事典*	日外アソシエーツ	1980	——
哲学	近代日本哲学思想家辞典	東京書籍	1982	——
伝記	世界伝記大事典 日本・朝鮮・中国編	ほるぷ出版	1978	——
陶芸	現代陶芸作家事典・新版	光芸出版	1980	——
俳諧	俳諧人名辞典	巖南堂	1960	1972.6
文学	日本文学小辞典	新潮社	1968	1981.6
漫画	日本まんが賞事典	るいべ社	1980	——
名画	日本名画家伝	青蛙房	1967	——
落語	落語家面白名鑑	かんき出版	1982	——

* 書誌を含む。

** 本事典編纂に使用した辞典(事典)の刊行年月。——は初版を示す。

人物レファレンス事典Ⅳ
人名典拠録 下



目 次

上巻

音訓よみ人名ガイド.....	8
音訓よみが難しい漢字の一覧.....	30
部首索引.....	34
部首・総画順人名ガイド.....	36
本 文	
漢字の部（部首 1 画～部首 3 画）.....	1

下巻

漢字の部（部首 4 画以降）.....	917
かなの部.....	2098



部首 4 画

心部

[560] 心

- 心月女王 しんげつじょう[1580～1590 王女]⇒中世編(人名③)
 心田清播 しんでんせいはん[1375～1447 僧]⇒中世編(コン)
 心地覚心 しんちかくしん[1207～1298 禅僧]⇒中世編(コン)
 心性 しんしょう[平文師]⇒中世編(人名③)
 心前 しんぜん[連歌師]⇒中世編(人名③)
 心海空月 しんかいくうげつ[戒律僧]⇒中世編(人名③)
 心能 しんのう[仮面工]⇒中世編(人名③)
 心華元様 しんげげんたい[僧]⇒中世編(人名③)
 心寂 しんじやく[医僧]⇒中世編(人名③)
 心敬 しんけい[1406～1475 連歌師]⇒中世編(コン)
 心覚 しんかく[～1182 僧]⇒古代編(人名③)
 心越興儒 しんえつこうちゅう[1639～1695 祇園寺の開山]⇒近世編(世人)
 心誉 しんよ[957～1045 僧]⇒古代編(人名③)
 心霊牛道 しんれいぎゅうどう[～1655 僧]⇒近世編(人名③)

[561] 応

- 応仁 おうにん[～1153 後三条天皇皇孫]⇒古代編(人名①)
 応地恭子 おうちきょうこ[東海大学講師]⇒現代編(人情⑤)
 応其 おうご[1537～1608 僧]⇒中世編(戦国)
 応神天皇 おうじんてんのう[第15代の天皇]⇒古代編(人名①)
 応胤法親王 おういんほうしんのう[1531～1598 王子]⇒中世編(人名①)
 応善女王 おうぜんじょおう[1476～1497 後土御門天皇の第3皇女]⇒中世編(人名

①)

- 応源 おうげん[絵仏師]⇒古代編(名画)
 応蘭芳 おうらんふあん[1938～ 女優]⇒現代編(女優)

[562] 忌

- 忌部子首 いんべのこびと[～719 官僚]⇒古代編(コン)
 忌部正通 いんべのまさみち[神道家]⇒中世編(人名①)
 忌部正道 いんべのまさみち[「日本書紀口訣」の著者とされている]⇒中世編(コン)
 忌部色布知 いんべのしこうち[～701 王甲の乱の功臣]⇒古代編(人名①)
 忌部色弗 いんべのしこぶち[～701 官僚]⇒古代編(コン)
 忌部烏麻呂 いんべのからすまろ[医家]⇒古代編(人名①)
 忌部烏麻呂 いんべのとりまろ[官僚]⇒古代編(コン)
 忌部黒麻呂 いんべのくろまろ[官僚]⇒古代編(コン)
 忌部黒麿 いんべのくろまろ[官吏]⇒古代編(人名①)
 忌野清志郎 いまわのきよしろう[1951～ 歌手]⇒現代編(人情④)

[563] 志

- 志々目献吉 ししめけんきち[薩摩藩士]⇒近世編(維新)
 志大道 しのおおみち[歌人]⇒古代編(人名③)
 志内景澄 しうちかげずみ[～1160 源義朝の家臣]⇒古代編(人名③)
 志太仁十郎 しのだにじゅうろう[志士]⇒近世編(人名③)
 志太野坡 しだやば[1663～1740 俳人]⇒近世編(世人)
 志方玄求 しかたげんきゅう[1647～1712 肥後熊本藩医]⇒近世編(人名③)
 志方亜紀子 しかたあきこ[1957～ 女優]⇒現代編(女優)
 志方俊之 しかたとしゆき[陸将補]⇒現代編(人情①)
 志方益三 しかたますぞう[1895～1964 電気化学者]⇒現代編(現人)

志方勢七 しかにせいしち[1860～1921 実業家]⇒現代編(人名③)
 志方鍛 しかにたん[1857～1931 司法官]⇒現代編(人名③)
 志木次右衛門 しぎじうえもん[里見氏家臣]⇒中世編(戦東)
 志毛藕塘 しげぐとう[儒者]⇒近世編(人名③)
 志水みつ子 しみずみつこ[小石の収集家]⇒現代編(人情①)
 志水小一郎 しみずこいちろう[1854～1932 陸軍法務官]⇒現代編(人名③)
 志水才助 しみずさいすけ[～1793 肥後熊本藩士]⇒近世編(人名③)
 志水広典 しみずひろのり[1924～ 極洋社長]⇒現代編(人情①)
 志水直 しみずただし[1849～1927 陸軍歩兵大佐]⇒現代編(人名③)
 志水速雄 しみずはやお[1935～ 東京外語大教授]⇒現代編(人情①)
 志水晴児 しみずせいじ[1928～ 彫刻家]⇒現代編(現人)
 志水閑事 しみずかんじ[植物家]⇒近世編(人名③)
 志水楠男 しみずくすお[1926～ 前衛画商]⇒現代編(現人)
 志水盤谷 しみずばんこく[俳人]⇒近世編(人名③)
 志水燕十 しみずえんじゅう[戯作者]⇒近世編(人名③)
 志玉 しぎょく[1383～1463 華嚴宗僧]⇒中世編(人名③)
 志田二郎 しだじろう[高木証券歩合外務員]⇒現代編(人情②)
 志田力二 しだりきじ[1870～1925 海馬島開発者]⇒現代編(人名③)
 志田不動庵 しだふどうまろ[1902～ 中国文学研究者]⇒現代編(中専)
 志田光世 しだこうせい[～1981 元津市長]⇒現代編(人情①)
 志田圭三 しだけいざう[群馬大教授(泌尿器科)]⇒現代編(人情①)
 志田延義 しだのぶよし[1906～ 国文学(歌謡史)]⇒現代編(現執②)
 志田忠儀 しだただのり[キャンプ場の設置を呼びかける公園管理員]⇒現代編(人情

⑤)
 志田林三郎 しだりんざぶろう[1856～1892 電気工学者]⇒現代編(大百)
 志田岩太郎 しだいわたろう[1872～1918 汽船事務長]⇒現代編(人名③)
 志田保 しだたもつ[～1981 前新潟県新津市長]⇒現代編(人情①)
 志田重男 しだしげお[1911～1971 日本共産党地下指導者]⇒現代編(現人)
 志田素琴 しだそきん[1876～1946 俳人]⇒現代編(近文②)
 志田野坡 しだやば[1663～1740 俳人]⇒近世編(文学)
 志田順 しだとし[1876～1936 地球物理学者]⇒現代編(大百)
 志田鉦太郎 しだこうたろう[1868～1951 商法学者]⇒現代編(人名⑦)
 志田諱一 しだじゅんいち[1929～ 日本古代史研究家]⇒現代編(現執②)
 志立正臣 しだちまさおみ[～1981 弁護士]⇒現代編(人情①)
 志立富松 しだちとみまつ[1873～1910 花柳病専門医]⇒現代編(人名③)
 志多秀彦 しだひでひこ[～1981 志多組社長]⇒現代編(人情②)
 志多野坡 しだやば[1663～1740 俳人]⇒近世編(コン)
 志自岐小橋 しじきおたて[1811～1907 藩士]⇒近世編(人名③)
 志位正二 しいしょうじ[1920～1973 元陸軍少佐]⇒現代編(人情①)
 志佐要一郎 しさよういちろう[1841～1877 志士]⇒現代編(人名③)
 志佐勝 しさまさる[1864～1928 海軍主計中將]⇒現代編(人名③)
 志岐太郎次郎 しきたろうじろう[1845～1868 鹿児島藩士]⇒近世編(人名③)
 志岐純一 しきじゅんいち[～1980 品川燃料相談役]⇒現代編(人情①)
 志岐諸経 しきもろつね[～1589 肥後天草志岐城主]⇒中世編(戦国)
 志岐麟仙 しきりんせん[志岐城主]⇒中世編(人名③)
 志村かや しむらかや[1902～ 社会運動家]⇒現代編(社運)
 志村けん しむらけん[1950～ タレント]⇒

- 現代編(人情④)
 志村一男 しむらかずお〔～1981 洋画家〕⇒現代編(人情④)
 志村三休 しむらさんきゅう〔1701～1757 茶人〕⇒近世編(茶道)
 志村公平 しむらこうへい〔廃品利用の発明家：電器商〕⇒現代編(人情⑤)
 志村友直 しむらともなお〔1780～1866 弓術家〕⇒近世編(人名③)
 志村太喜弥 しむらたきや〔国立久里浜養護学校教諭〕⇒現代編(人情④)
 志村正浩 しむらせいこう〔1940～ 映画監督〕⇒現代編(監督)
 志村正雄 しむらまさお〔1929～ アメリカ文学〕⇒現代編(現執②)
 志村礼助 しむられいすけ〔国学者〕⇒近世編(人名③)
 志村立美 しむらたつみ〔1907～1980 挿画家〕⇒現代編(人情④)
 志村光安 しむらみつやす〔～1609 最上氏家臣〕⇒中世編(戦東)
 志村光清 しむらみつきよ〔～1614 最上氏家臣〕⇒中世編(戦東)
 志村年子 しむらとしこ〔1942～ オペラ歌手〕⇒現代編(人情④)
 志村有弘 しむらくにひろ〔1941～ 説話文学〕⇒現代編(現執②)
 志村求我 しむらきゅうが〔1796～1854 弓術家〕⇒近世編(人名③)
 志村秀彦 しむらひでひこ〔福岡大医学部教授〕⇒現代編(人情③)
 志村良治 しむらりょうじ〔1928～ 中国文学・語学研究者〕⇒現代編(中専)
 志村昌義 しむらまさよし〔和算家〕⇒近世編(人名③)
 志村東華 しむらとうか〔1746～1832 儒者〕⇒近世編(人名③)
 志村武 しむらたけし〔1923～ 哲学〕⇒現代編(現執②)
 志村治美 しむらはるよし〔1932～ 商法学(会社法)〕⇒現代編(現執②)
 志村英二 しむらえいじ〔青森県農業試験場藤坂支場長〕⇒現代編(人情④)
 志村敏夫 しむらとしお〔1914～1980 映画監督〕⇒現代編(人情④)
 志村清一 しむらせいいち〔1919～ 住宅・都市整備公団初代総裁〕⇒現代編(人情②)
 志村規矩夫 しむらきくお〔1934～ ジャーナリスト〕⇒現代編(現執②)
 志村喜代作 しむらきよさく〔1892～1926 海軍飛行中佐〕⇒現代編(人名③)
 志村喬 しむらたかし〔1905～ 俳優〕⇒現代編(現人)
 志村富寿 しむらとみひさ〔1919～ 新聞記者〕⇒現代編(現執②)
 志村智雄 しむらのりお〔1944～ 新劇俳優〕⇒現代編(人情④)
 志村源太郎 しむらげんたろう〔1867～1930 官吏〕⇒現代編(人名③)
 志村資良 しむらすけよし〔1561～1602 武士〕⇒中世編(人名③)
 志村嘉一 しむらかいち〔1934～ 経済学(金融市場分析)〕⇒現代編(現執②)
 志村嘉一郎 しむらかいちろう〔1941～ 朝日新聞社販売局次長〕⇒現代編(人情③)
 志村賢男 しむらたかお〔1928～ 経済政策〕⇒現代編(現執②)
 志村鏡一郎 しむらきょういちろう〔1931～ 西洋教育史〕⇒現代編(現執②)
 志沢芳夫 しぎわよしお〔1931～ 経営コンサルタント〕⇒現代編(現執②)
 志南哲夫 しほてつお〔協栄生命保険財務部長〕⇒現代編(人情④)
 志知亮 しちりょう〔1909～1935 一等飛行士〕⇒現代編(人名③)
 志和勘助 しわかんすけ〔～1595 長宗我部氏家臣〕⇒中世編(戦西)
 志波安一郎 しばやすいちろう〔1873～1932 政治家〕⇒現代編(人名③)
 志波西果 しばせいか〔1900～ 映画監督〕⇒現代編(監督)
 志茂又左衛門 しもまたざえもん〔1830～1868 仙台藩士〕⇒近世編(維新)
 志茂山高也 しもやまたかや〔1942～ 俳優〕⇒現代編(男優)
 志茂田景樹 しもだかげき〔1941～ 小説家〕⇒現代編(人情④)
 志茂碩敏 しもひろとし〔史学研究家〕⇒現代編(人情④)
 志度藤雄 しどふじお〔1901～ 「クレール・ド・赤坂」料理顧問〕⇒現代編(人情④)
 志垣太郎 しぎきたろう〔1951～ 俳優〕⇒現

- 代編(男優)
- 志垣寛 しがきひろし[1889～1965 雑誌編集者]⇒現代編(人名⑦)
- 志垣嘉夫 しがきよしお[1940～ 西洋史(フランス近世社会史)]⇒現代編(現執②)
- 志津田氏治 しづたうじはる[1925～ 海事法]⇒現代編(現執②)
- 志津兼氏 しづかねうじ[1278～1344 刀工]⇒中世編(人名③)
- 志津野拙三 しづのせつぞう[1822～1884 志士]⇒近世編(人名③)
- 志倉西馬 しくらさいば[1808～1858 俳優]⇒近世編(人名③)
- 志馬琢哉 しばたくや[1937～ 俳優]⇒現代編(男優)
- 志野知郷 しのともしと[和算家]⇒近世編(人名③)
- 志野宗信 しのそうしん[1441～1522 香道家]⇒中世編(人名③)
- 志野宗信 しのむねのぶ[1441～1522 香道家]⇒中世編(世人)
- 志野宗温 しのそうおん[茶人]⇒中世編(人名③)
- 志野省巴 しのしょうは[1502～1571 香道家]⇒中世編(人名③)
- 志野道耳 しのどうじ[茶道家]⇒中世編(人名③)
- 志鳥栄八郎 しどりえいはちろう[1926～ 音楽評論家]⇒現代編(音楽)
- 志麻いづみ しまいづみ[1953～ 女優]⇒現代編(女優)
- 志麻かの子 しまかのこ[ナレーター]⇒現代編(人情④)
- 志喜屋孝信 しきやこうしん[1884～1955 元沖縄民政府知事]⇒現代編(現人)
- 志斐三田次 しひのみたすき[学者]⇒古代編(コン)
- 志斐姫 しいのおみな[歌人]⇒古代編(人名③)
- 志智双六 しちそうろく[1902～ 劇作家]⇒現代編(近文②)
- 志満山人 しまさんにん[画家]⇒近世編(人名③)
- 志筑忠雄 しづきただお[1760～1806 蘭学者]⇒近世編(コン)
- 志賀フジ しがふじ[1903～ 鹿児島女子大理事長]⇒現代編(人情⑤)
- 志賀小太郎 しがこたろう[槍術家]⇒近世編(人名③)
- 志賀小左衛門 しがこざえもん[豊後日田郡太井庄の領主]⇒中世編(戦国)
- 志賀山万作 しがやままんさく[劇場振附師]⇒近世編(人名③)
- 志賀山勢井[1代 志賀山9代] しがやませい[～1803 舞踊]⇒近世編(人名③)
- 志賀山勢井[2代 志賀山10代] しがやませい[～1804 舞踊]⇒近世編(人名③)
- 志賀山勢井[3代 志賀山11代] しがやませい[舞踊]⇒近世編(人名③)
- 志賀山勢井[4代 志賀山12代] しがやませい[舞踊]⇒近世編(人名③)
- 志賀山勢井[5代 志賀山13代] しがやませい[舞踊]⇒現代編(人名③)
- 志賀仁右衛門 しがにえもん[旗本奴]⇒近世編(人名③)
- 志賀公江 しがきみえ[1948～ 漫画家]⇒現代編(漫画)
- 志賀友吉 しがともきち[1896～1916 志士]⇒現代編(人名③)
- 志賀天民 しがてんみん[1824～1876 医者]⇒近世編(維新)
- 志賀正年 しがまさとし[1914～1981 中国語・中国文学研究者]⇒現代編(人情③)
- 志賀正治 しがまさはる[～1980 変化運輸社長]⇒現代編(人情①)
- 志賀典子 しがのりこ[青年海外協力隊第1次派遣隊女性隊員]⇒現代編(人情①)
- 志賀典重 しがのりしげ[ホッキ貝の養殖漁業]⇒現代編(人情②)
- 志賀直哉 しがなおや[1883～1971 小説家]⇒現代編(人情①)
- 志賀直温 しがなおはる[1853～1929 実業家]⇒現代編(人名③)
- 志賀金八郎 しがきんぱちろう[～1859 幕臣]⇒近世編(人名③)
- 志賀亮 しがあきら[1889～1953 皮膚科・性病科学者]⇒現代編(人名⑦)
- 志賀信夫 しがのぶお[1929～ テレビ批評家]⇒現代編(人情①)
- 志賀貞朝 しがさだとも[武将]⇒中世編(人名③)
- 志賀適家淡海 しがのやたんかい[1883～

- 1956 喜劇俳優⇒現代編(人名⑦)
 志賀為吉 しがためきち[1825～1871 秋田藩士]⇒近世編(維新)
 志賀祐五郎 しがすけごろう[1864～1918 新聞記者]⇒現代編(人名③)
 志賀重昂 しがしげたか[1863～1927 地理学者]⇒現代編(人名③)
 志賀泰山 しがたいざん[1854～1934 官吏]⇒現代編(人名③)
 志賀真津子 しがまつこ[1925～ 女優]⇒現代編(女優)
 志賀能長 しがよしなが[武将]⇒中世編(人名③)
 志賀健次郎 しがけんじろう[1903～ 政治家]⇒現代編(コン)
 志賀康子 しがさだこ[～1980 故志賀直哉の妻]⇒現代編(人情①)
 志賀理斎 しがりさい[1762～1841 幕吏]⇒近世編(人名③)
 志賀巽軒 しがそんけん[1831～1879 国学者]⇒現代編(人名③)
 志賀敦内 しがけいない[1818～1867 志士]⇒近世編(人名③)
 志賀敦内妻 しがけいないのつま[志賀敦内の後妻]⇒近世編(人名③)
 志賀暁子 しがあきこ[1911～ 女優]⇒現代編(女優)
 志賀勝 しがまさる[1892～1955 アメリカ文学者]⇒現代編(人名⑦)
 志賀勝 しがまさる[1942～ 俳優]⇒現代編(男優)
 志賀寛子 しがひろこ[1929～ 婦人労働問題研究者]⇒現代編(現人)
 志賀靖郎 しがやすろう[1889～1941 俳優]⇒現代編(男優)
 志賀節 しがせつ[1933～ 政治家]⇒現代編(人情①)
 志賀義天 しがぎてん[武将]⇒中世編(人名③)
 志賀義雄 しがよしお[1901～ 政治家]⇒現代編(現人)
 志賀徳卿 しがとくきょう[1825～1871 志士]⇒近世編(人名③)
 志賀潔 しがきよし[1870～1957 細菌学者]⇒現代編(現人)
 志賀親安 しがちかやす[豊後直入郡岡城主]⇒中世編(人名③)
 志賀親守 しがちかもり[大友氏家臣]⇒中世編(戦西)
 志賀親次 しがちかつぐ[1569～ 豊後岡城主]⇒中世編(人名③)
 志賀親朋 しがしんほう[1842～1916 ロシア語学者]⇒現代編(人名③)
 志賀親度 しがちかのり[～1587 大友氏家臣]⇒中世編(戦西)
 志賀親教 しがちかのり[武将]⇒中世編(人名③)
 志賀親雄 しがちかお[～1981 弁護士]⇒現代編(人情①)
 志賀謙 しがけん[1930～ 英語(文章・文理論)]⇒現代編(現執②)
 志賀鎮隆 しがしげたか[～1586 大友氏家臣]⇒中世編(戦西)
 志賀鑑隆 しがあきたか[～1588 大友氏家臣]⇒中世編(戦西)
 志貴右衛門尉 しきうえものじょう[勇士]⇒中世編(人名③)
 志貴昌勝 しきまさかつ[～1659 神官]⇒近世編(人名③)
 志貴昌澄 しきまさずみ[1688～1753 神官]⇒近世編(人名③)
 志貴昌興 しきまさおき[～1671 神官]⇒近世編(人名③)
 志貴皇子 しきのみこ[～716 万葉歌人]⇒古代編(詩歌)
 志道広良 しじひろよし[～1557 毛利氏家臣]⇒中世編(戦西)
 志道軒 しどうけん[1682～1765 講釈師]⇒近世編(人名③)
 志道隼人 しじはやと[～1885 萩藩家老]⇒近世編(維新)
 志摩ようこ しまようこ[1953～ 漫画家]⇒現代編(漫画)
 志摩好矩 しまこうく[～1838 算家]⇒近世編(人名③)
 志摩利右衛門 しまりえもん[1809～1884 庄屋]⇒近世編(コン)
 志摩乗時 しまのりとき[1749～1815 木彫師]⇒近世編(人名③)
 志摩達夫 しまたつお[西友ストアー消費者室長]⇒現代編(人情①)
 志摩陽伍 しまようご[1930～ 教育学(日本

近代教育史)⇒現代編(現執②)

志摩靖彦 しまやすひこ[1913～俳優]⇒現代編(俳優)

志穂美悦子 しほみえつこ[1955～女優]⇒現代編(人情①)

志築徹朗 しづきてつろう[1937～国際経済学]⇒現代編(現執②)

志鶴忠夫 しづるただお[～1981元日本グライダークラブ顧問]⇒現代編(人情④)

志鷹光次郎 したかみつじろう[1897～1968登山ガイド]⇒現代編(人名⑦)

[564] 忍

忍土佐 おしとさ[里見氏家臣]⇒中世編(戦東)

忍月 にんげつ[1865～1926俳人]⇒現代編(俳諧)

忍田博三郎 おしだひろさぶろう[～1980日本盆栽協同組合常任相談役]⇒現代編(人情③)

忍坂大中姫 おさかのおおなかつひめ[允恭天皇の皇后]⇒古代編(コン)

忍坂部乙鷹 おさかべのおとまる[歌人]⇒古代編(人名①)

忍足兵藏 おしたりへいぞう[里見氏家臣]⇒中世編(戦東)

忍足治部少輔 おしたりじぶしょうゆう[里見氏家臣]⇒中世編(戦東)

忍岡常丸 しのぶがおかつねまる[作家]⇒近世編(人名③)

忍性 にんしょう[1217～1303律僧]⇒中世編(人名⑤)

忍海 にんかい[1696～1761浄土宗僧]⇒近世編(人名⑤)

忍海辺五百麿 おしぬみべのいほまる[防人]⇒古代編(人名①)

忍海色夫古娘 おしぬみのしこぶこのいらつめ[天智天皇の宮女]⇒古代編(コン)

忍節子 しのぶせつこ[1914～女優]⇒現代編(女優)

忍徹 にんちょう[1645～1711山城法然院の開山]⇒近世編(人名⑤)

忍熊皇子 おしくまのみこ[仲哀天皇の皇子]⇒古代編(コン)

忍壁皇子 おさかべのみこ[～705天武天皇の皇子]⇒古代編(コン)

忍壁親王 おさかべしんのう[～705天武天皇の皇子]⇒古代編(世人)

忍藤左衛門 おしとうざえもん[里見氏家臣]⇒中世編(戦東)

[565] 快

快山 かいざん[画家]⇒中世編(人名②)

快川紹喜 かいせんしょうき[～1582臨濟宗の傑僧]⇒中世編(人名②)

快元 かいげん[～1469僧]⇒中世編(人名②)

快円 かいえん[東大寺の学僧]⇒中世編(人名②)

快翁玄俊 かいおうげんしゅん[禅僧]⇒中世編(人名②)

快菴明慶 かいあんみょうきょう[1422～1493下野大中寺開山]⇒中世編(人名②)

快尊 かいそん[1391～1466高山山問答講復興者]⇒中世編(人名②)

快道 かいどう[1751～1810新義真言宗の僧]⇒近世編(人名②)

快禅 かいぜん[棋僧]⇒近世編(人名②)

快慶 かいけい[彫刻家]⇒中世編(人名②)

[566] 忽

忽那栄 くつなさかえ[藤和不動産社長]⇒現代編(人情②)

忽那重清 くつなしげきよ[武将]⇒中世編(世人)

忽那重義 くつなしげよし[武将]⇒中世編(世人)

忽那通著 くつなつうちょう[～1579河野通直の部将]⇒中世編(戦国藩)

忽那寛 くつなひろし[～1980弁護士]⇒現代編(人情②)

忽那義範 くつなよし[勤王家]⇒中世編(世人)

忽滑谷快天 ぬかりやかいてん[1867～1934宗教家]⇒現代編(人名⑤)

[567] 忠

忠子女王 ただこじょう[1232～1249順徳上皇皇女]⇒中世編(人名④)

忠子女王 ただこによおう[～904清和天皇女御]⇒古代編(人名④)

忠子内親王 ただこないしんのう[854～904

光孝天皇の皇女]⇒古代編(人名④)

忠内真須美 ただうちますみ[「保険110番」:
消費生活コンサルタント]⇒現代編(人情
⑤)

忠円 ちゅうえん[浄土僧]⇒中世編(人名
④)

忠成王 ただなりおう[1222～1280 順徳天
皇の皇子]⇒中世編(人名④)

忠佐市 ちゅうさいち[1906～ 弁護士]⇒現
代編(現執③)

忠助法親王 ちゅうじょほうしんのう[～
1290 後嵯峨天皇の皇子]⇒中世編(人名
④)

忠快 ちゅうかい[～1227 小川流の祖]⇒中
世編(人名④)

忠良親王 ちゅうりょうしんのう[819～876
武部卿]⇒古代編(人名④)

忠知 ただとも[～1676 俳人]⇒近世編(俳
諧)

忠房親王 ただふさしんのう[～1347 順徳
天皇の皇曾孫]⇒中世編(人名④)

忠貞王 たださだおう[820～884 桓武天皇
の皇孫]⇒古代編(人名④)

忠室宗孝 ちゅうしつしゅうこう[～1533
僧]⇒中世編(人名④)

忠津陽子 ただつようこ[1949～ 漫画家]⇒
現代編(漫画)

忠望王 ただもちおう[光孝天皇の皇孫]⇒古
代編(人名④)

忠範王 ただのりおう[～880 桓武天皇の皇
孫]⇒古代編(人名④)

[568] 念

念仏重兵衛[5代] ねんぶつじゅうべえ
[1818～1869 茶商]⇒近世編(人名⑤)

[569] 怡

怡子内親王 いしなしんのう[王女]⇒古代
編(人名①)

怡中全順 いちゅうぜんじゅん[天龍寺主]⇒
中世編(人名①)

怡深宗悦 いけいそうえつ[1644～1714 茶
道]⇒近世編(コン)

怡雲元悦 いうんげんえつ[～1688 黄檗宗
僧]⇒近世編(人名①)

怡雲宗悦 いうんしゅうえつ[1501～1589

大徳寺主]⇒中世編(人名①)

[570] 性

性山 しょうざん[～1785 天台宗の高僧]⇒
近世編(人名③)

性仁入道親王 しょうにんにゅうどうしんの
う[1267～1304 後深草天皇の第3皇子]⇒
中世編(人名③)

性円法親王 しょうえんほうしんのう[1292
～1347 後宇多天皇の第三皇子]⇒中世編
(人名③)

性全 しょうぜん[医僧]⇒中世編(人名③)

性助入道親王 しょうじょにゅうどうしんの
う[1247～1282 後嵯峨天皇の御6皇子]⇒
中世編(人名③)

性応法親王 しょうおうほうしんのう[1690
～1712 霊元天皇の第11皇子]⇒近世編(人
名③)

性承法親王 しょうじょうほうしんのう
[1637～1678 後水尾天皇の第7皇子]⇒近
世編(人名③)

性空 しょうくう[910～1007 僧]⇒古代編
(人名③)

性俊 しょうしゅん[1762～1812 高僧]⇒近
世編(人名③)

性信 しょうしん[1187～1275 親鸞の弟
子]⇒中世編(人名③)

性信法親王 しょうしんほうしんのう[1005
～1085 三条天皇第4皇子]⇒古代編(人名
③)

性信親王 しょうしんしんのう[1005～1085
三条天皇の第4子]⇒古代編(世百)

性海靈見 しょうかいれいけん[1315～1396
僧]⇒中世編(人名③)

性恵女王 しょうえにょおう[1416～1441
王女]⇒中世編(人名③)

性真 しょうしん[浄土宗鎮西派藤田流の
祖]⇒中世編(人名③)

性真法親王 しょうしんほうしんのう[1639
～1696 後水尾天皇第9皇子]⇒近世編(人
名③)

性庵 しょうあん[画僧]⇒中世編(人名③)

性盛 しょうじょう[1537～1609 僧]⇒中世
編(人名③)

性菊 しょうきく[～1516 禅僧]⇒中世編
(人名③)

性勝入道親王 しょうしょうにゅうどうしんのう〔～1354 後宇多天皇の第5皇子〕⇒中世編(人名③)

性覚法親王 しょうかくほうしんのう〔1267～1297 龜山天皇の皇子〕⇒中世編(人名③)

性瑜 しょうゆ〔僧〕⇒中世編(人名③)

性慶 しょうけい〔1668～1737 僧〕⇒近世編(人名③)

性慧法親王 しょうえほうしんのう〔龜山天皇の皇子〕⇒中世編(人名③)

性融法親王 しょうゆほうしんのう〔龜山天皇の皇子〕⇒中世編(人名③)

[572] 急

急西 きゅうさい〔～1647 僧〕⇒近世編(人名②)

[573] 思

思兼神 おもいかねのかみ〔「古事記」「日本書紀」の伝える神話中の神〕⇒古代編(世百)

思託 したく〔僧〕⇒古代編(人名③)

思湛 したん〔画家〕⇒中世編(茶道)

[574] 怒

怒風 どふう〔～1743 俳人〕⇒近世編(俳諧)

[575] 恢

恢嶺 かいいい〔1839～1885 僧〕⇒現代編(人名②)

[576] 恒

恒丸 つねまる〔～1810 俳人〕⇒近世編(俳諧)

恒久王 つねひさおう〔1882～1919 竹田宮第1世〕⇒現代編(人名④)

恒子女王 つねこじょうおう〔1826～1916 関白左大臣二条斎敬の室〕⇒現代編(人名④)

恒川武敏 つねかわたけとし〔～1981 仏教大教授〕⇒現代編(人情③)

恒川泰蔵 つねかわたいざう〔1786～1845 漢学者〕⇒近世編(人名④)

恒川真 つねかわしん〔～1981 元朝日新聞論説委員〕⇒現代編(人情③)

恒川陽一郎 つねかわよういちろう〔1888～1916 小説家〕⇒現代編(近文②)

恒川義夫 つねかわよしお〔1904～ 仏文学〕⇒現代編(人書)

恒世親王 つねよしのう〔805～826 中務卿〕⇒古代編(人名④)

恒弘法親王 こうこうほうしんのう〔1431～1509 王子〕⇒中世編(人名②)

恒田文次 つねだぶんじ〔1903～1970 民事訴訟法〕⇒現代編(人書)

恒助法親王 こうじょほうしんのう〔1291～1310 後深草天皇の第8皇子〕⇒中世編(人名②)

恒助法親王 こうじょほうしんのう〔王子〕⇒中世編(人名②)

恒良親王 つねながしんのう〔1324～1338 後醍醐天皇の皇子〕⇒中世編(コン)

恒岡光興 つねおかみつおき〔1939～ 陶芸家〕⇒現代編(陶芸)

恒岡直史 つねおかなおふみ〔1840～1895 芝村藩士〕⇒現代編(維新)

恒岡信家 つねおかのぶいえ〔後北条氏家臣〕⇒中世編(戦東)

恒岡弾正忠 つねおかだんじょうのちゅう〔後北条氏家臣〕⇒中世編(戦東)

恒性 こうしょう〔～1333 後醍醐天皇の皇子〕⇒中世編(人名②)

恒明親王 つねあきしんのう〔1303～1351 龜山天皇の皇子〕⇒中世編(人名④)

恒松安夫 つねまつやすお〔1899～1963 政治家〕⇒現代編(人名⑦)

恒松制治 つねまつせいじ〔1923～ 地方自治問題〕⇒現代編(現執③)

恒松恭助 つねまつきょうすけ〔1910～ 小説家〕⇒現代編(近文②)

恒松隆慶 つねまつたかよし〔1848～1920 政治家〕⇒現代編(人名④)

恒河唯江 つねかわただえ〔1818～1855 儒者〕⇒近世編(人名④)

恒直親王 つねなおしんのう〔～1552 龜山天皇の第7世の孫〕⇒中世編(人名④)

恒貞親王 つねさだしんのう〔825～884 淳和天皇の第2皇子〕⇒古代編(人名④)

恒屋盛服 つねやせいふく〔1855～1909 志士〕⇒現代編(人名④)

恒恵 こうえ〔1159～1206 後白河天皇の皇

子)⇒中世編(人名②)

恒隆五郎左衛門 つねたかごろうざえもん
[1596～1673 水戸藩士]⇒近世編(人名④)

恒敦親王 つねあつしんのう[～1422 後龜山天皇の皇子]⇒中世編(人名④)

恒統親王 つねむねしんのう[829～842 淳和天皇皇子]⇒古代編(人名④)

恒雲法親王 こううんほうしんのう[龜山天皇の皇子]⇒中世編(人名②)

恒遠精齋 つねとおせいさい[1842～1895 漢学者]⇒現代編(人名④)

恒遠頼母 つねとおたのも[1803～1861 儒者]⇒近世編(人名④)

恒蔵 つねぞう[陶画工]⇒近世編(人名④)

恒藤武二 つねとうたけじ[1919～ 基礎法学]⇒現代編(現執③)

恒藤恭 つねとうきょう[1888～1967 法哲学者]⇒現代編(人情③)

恒藤規隆 つねとうのりたか[1857～1938 土壌学者]⇒現代編(人名⑦)

恒鎮法親王 こうちんほうしんのう[～1372 王子]⇒中世編(人名②)

[577] 恬

恬子内親王 てんしなしいしんのう[～913 文德天皇の皇女]⇒古代編(人名④)

[578] 恩

恩田木工 おんだたくみ[1717～1762 真田幸弘の重臣]⇒近世編(コン)

恩田正一 おんだしょういち[1907～ 農業]⇒現代編(現人)

恩田佐吉 おんださきち[1644～1719 義民]⇒近世編(人名①)

恩田幸男 おんだゆきお[8 千万円を詐取した農協職員]⇒現代編(人情⑤)

恩田洋子 おんだようこ[ハリ・マッサージ治療師]⇒現代編(人情⑤)

恩田逸夫 おんだいつお[1916～1979 日本近代文学]⇒現代編(現執①)

恩田敬休 おんだけいきゅう[儒者]⇒近世編(人名①)

恩田智美 おんださとみ[ジャズダンス教師]⇒現代編(人情④)

恩田鉄弥 おんだてつや[1864～1946 農学

者]⇒現代編(人名⑦)

恩田彰 おんだあきら[1925～ 教育心理学]⇒現代編(現執①)

恩田蕙楼 おんだけいろう[1743～1813 漢学者]⇒近世編(人名①)

恩田鶴城 おんだかくじょう[1739～1804 儒者]⇒近世編(人名①)

恩地日出夫 おんちひてお[1933～ 映画監督]⇒現代編(監督)

恩地左近 おんちさこん[勤王家]⇒中世編(人名①)

恩地孝四郎 おんちこうしろう[1891～1955 版画家]⇒現代編(現人)

恩河朝恒 おんがちょうこう[～1860 物奉行]⇒近世編(コン)

恩納なべ おんななべ[女歌人]⇒近世編(人名①)

[579] 恭

恭子女王 きょうこによおう[984～ 村上天皇の皇孫女]⇒古代編(人名②)

恭子内親王 きょうこないしんのう[902～915 醍醐天皇の第三皇女]⇒古代編(人名②)

恭礼門院 きょうらいもんいん[1743～1795 桃園天皇の女御]⇒近世編(人名②)

恭畏 きょうい[1565～1630 僧]⇒中世編(人名②)

[580] 恵

恵千比紹 けいちひろ[1948～ 女優]⇒現代編(女優)

恵子女王 けいしによおう[925～ 醍醐天皇皇孫女]⇒古代編(人名②)

恵心 えしん[942～1017 天台宗恵心流の祖]⇒古代編(人名①)

恵心尼 えしんに[1178～1268? 親鸞の後妻]⇒中世編(世百)

恵日 えにち[医師]⇒古代編(コン)

恵日房成忍 えにちぼうじょうにん[画家]⇒中世編(人名①)

恵旭 えきよく[僧]⇒近世編(人名①)

恵行 えぎょう[学僧]⇒古代編(人名①)

恵谷隆成 えたにりゅうかい[1902～ 浄土教]⇒現代編(人書)

恵岳 えがく[1719～1789 歌僧]⇒近世編